

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月26日更新

事務事業名		防犯カメラ設置支援助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	齋藤 和広
	施策	17	防犯対策の推進			所属課	交通防災課	担当者名	三谷 三恵
	施策の柱	54	防犯に関する環境整備			所属班	交通防災班	(内線)	1242
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 4	事業連番 11638	根拠法令	合志市防犯カメラ設置支援補助金交付要項		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 30 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	防犯カメラ設置を希望する行政区に対し、合志市防犯カメラ設置支援補助金交付要項に基づき補助金を交付する。
【業務の流れ】	合志市防犯カメラ設置支援補助金交付要項に基づき、各行政区へ要望を募り必要な行政区に対して補助金関係事務を行う。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯カメラを設置することによる犯罪抑止効果と犯罪が起きてからの捜査活動への情報提供などに期待が高まっている。</li> <li>・補助金額(100千円)に対する増額と維持管理費に対する補助の要望がある。</li> </ul>

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動)	3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
	行政区へ防犯カメラ設置に対する補助金を交付し、各区の防犯対策を支援した。(黒石区3基、若原区1基、黒石団地区1基)	防犯カメラ設置を行う地区(10地区14基)に補助金の支援を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 基	予算の主な増減の理由
→ イ	防犯カメラの申請基數	【拡充事業】前年度までは補助金を補正予算で対応していたが、本年度から事前に要望調査を実施した為、補助金の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 基	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
設置完了した防犯カメラ基數	→ イ	設置完了した防犯カメラ基數
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) %	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
犯罪を抑止する環境にする。また犯罪が起きてからの警察捜査の早期解決に寄与することにより安全で安心な生活ができる。	→ イ	防犯カメラを設置出来た割合
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度 実績(決算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	5年度 予定	6年度 見込	7年度 見込	
① 活動指標	ア	基	1	2	1	5	14	10	10	10	
	イ										
② 対象指標	ア	基	1	2	1	5	14	10	10	10	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投資 入費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	100	200		755	1,400	1,000	1,000	1,000
	(A) 事業費計	千円	100	200	0	755	1,400	1,000	1,000	1,000	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	60	100	60	300	60	60	60	60	
	(B)人件費計	千円	237	394	239	1,173	239	239	239	239	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	337	594	239	1,928	1,639	1,239	1,239	1,239	

事務事業名	防犯カメラ設置支援助成事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 黒石区等、5基の申請に対し補助金支援を実施し目標を達成した。
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 令和4年度の要望(10区、14基)に基づき補助金の交付を行っていく。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 区から防犯カメラ取付の問い合わせが増加しており、今後、要望も増加と思われる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金のみ支出であり削減の余地はない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低人員で事務を行っている為、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 区要望の条件として総会等で区民の同意を得ることとなり、公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助要綱に基づく事業であり役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

安全で安心なまちづくりの為、防犯カメラの設置を行う団体に補助金交付要綱に基づき補助を行っており役割分担は適正である。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>防犯に対する各地区の意識は高まっていると感じられ設置要望も増加傾向にある。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						